

特別支援学校 小学部 高学年	題材名	<b>異性とののぞましい関わり方</b>
-------------------	-----	----------------------

1 題材について

小学部高学年になると、二次性徴の発現に伴って、体の成長と共に、心にも変化が現れ、異性に対する関心が高まってくる。児童の中には、感情の赴くままに関心のある異性の体に触れようとしたり、近づこうとしたりする場合があり、むやみに人の体に触れたり、意味もなく他の人に近づこうとしたりすることはよくないことであることを理解させ、社会的規範をふまえた行動について指導する必要がある。

そこで、この時期は、体とともに心も成長しており、異性に対する関心の高まりは自然なことであることを理解させるとともに、異性の嫌がる行動等について気付かせ、適切な行動がとれるようになることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 心の成長に気づき、異性との望ましい関わり方について理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 本時の学習の流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容を明確に示し、見通しをもたせる。</li> <li>○ 「体の成長」について学習したことを想起させ、今回は「心の成長」について学習することを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・プロジェクター</li> </ul>
展開	2 心の成長について考える。 ・男女で手をつないだ時の気持ち（どきどきする うれしい等）  3 ビデオ等を見て、異性との望ましい関わり方について考える。 ・友達が嫌がること ・仲良くするためのきまり  4 ロールプレイをして、抱きつかれた時など嫌な時に、拒否する練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体的な場面を提示し、思い出させる。</li> <li>○ このような気持ちは心の成長に伴う自然な現象であること、個人差があること等について知らせる。</li> <li>○ ビデオ等で、体に触られて嫌がる場面を見せるなどして、相手の気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 自分たちの日常生活を振り返らせ、同じ経験をしたことがなかったか考えさせる。</li> <li>○ 相手を思いやる気持ちの大切さに気付かせる。</li> <li>○ 嫌なことをする役は教師が行う。</li> <li>○ 大きな声を出す練習をさせる。</li> <li>○ 手ではらいのける練習をさせる。</li> <li>○ 自分の大切な心と体を自分で守ろうとする気持ちをもつことの大切さを知らせる。</li> <li>○ 悩み事があったら信頼できる大人に相談することを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される気持ちのカード</li> <li>・ビデオ等</li> <li>・ロールプレイシナリオ &lt;資料&gt;</li> </ul>
終末	5 学習のまとめをする。 ・異性との関わり方について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 異性との関わり方のポイントや、自分がされて嫌なことは友達にもしないことについて確認させ実践化を促す。</li> </ul>	

1 拒否できない例

- 男の子 : 女の子に近づく。  
女の子の髪の毛をにおう。  
女の子 : ちょっと嫌な顔をする。  
男の子 : 話しかけながら、髪の毛をさわる。  
: 抱きつこうとする。  
女の子 : 嫌な顔はするが抵抗しない。  
他の児童 : 嫌がっているから、やめるよう言う。  
男の子 : 女の子から離れる。

2 拒否する例

- 男の子 : 女の子に近づく。  
女の子の髪の毛をにおう。  
女の子 : ちょっと嫌な顔をする。  
男の子 : 話しかけながら、髪の毛をさわる。  
女の子 : 「やめて」と言う。  
男の子 : 抱きつこうとする。  
女の子 : 大きな声で「やめて」と言い、手ではらいのける。  
男の子 : 女の子から離れる。

3 馴れ馴れしすぎる例

- 女の子 : 女の子が、大好きな男の先生に近づく。  
「せんせい、かっこいい」と言って抱きつく。  
男の先生 : 嫌な顔をして「男の人に抱きついてはいけません」と言って拒否する。

4 馴れ馴れしすぎる男女の例

- 女の子 : 本を読んでいる男の子に近づく。  
男の子に「私にも本を見せて」と言って横に座る。  
男の子と腕を組みながら本を見る。  
男の子の顔に自分の顔を近づけて本を見る。  
他の児童 : 2人にやめるよう言う。  
女の子 : 男の子から離れる。

5 親切にする例 (困っている時助ける等)

- 女の子 : たくさん物を運んでいる。落としそうになる。  
男の子 : 近くを通りかかり「運んであげようか?」と言って物を分け一緒に運ぶ。  
女の子 : 「ありがとう」  
男の子 : 「どういたしまして」

特別支援学校 高等部	題材名  <b>好きな人ができたら</b>
---------------	-----------------------------

1 題材について

思春期を迎えると、高等部の生徒達は、身体の性的成熟に伴い男女交際への憧れや異性への興味、関心が高まり、心身の発育・発達に個人差に対する不安や疑問も生じてくる。しかし、自分の感情や行動をコントロールしたり周囲の人達に適切に対処したりする力が十分に育っていないことによる、対人関係のトラブルや性的問題も懸念される。

障がいのある児童生徒においても、障がいのない児童生徒同様、障がいの程度や状態に応じて、コミュニケーション能力を身に付けさせたり、社会的自立を促したりすることは重要である。

そこで、変化する自分の心と身体に向き合い、理解を深めるとともに、交際のマナーを身に付け、適切な人間関係を築くことができるよう支援していくことが重要と考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 異性への関心の高まりや感情の変化は、思春期の自然な心の働きであることを理解し、相手を尊重して接することや、性的欲求の高まりに適切に対処し、責任ある行動を選択すること等の大切さに気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	障がい種に応じた資料・準備
導入	1 本時の学習内容を知る	○ 学習内容を明確に提示し、見通しをもたせる。	・パソコン ・プロジェクター
展開	<p>2 「好き」という気持ちについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな人が「好き」か</li> <li>・「好き」とはどんな気持ちか</li> </ul> <p>3 相手の気持ちを考えて行動することの大切さについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「好きな人」に何をしてあげたいか</li> <li>・「好きな人」に何をしてもらいたいか</li> </ul> <p>4 交際のマナーについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな人と仲よくするためのマナーについて</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の嫌がることをしない。</li> <li>○自分を大切にする。</li> <li>○周りの人たちにいやな思いをさせない。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートに自分の気持ちを書かせる。</li> <li>○ 「好き」という気持ちは「相手を大切にしたい気持ち」であることに気付かせる。</li> <li>○ これから大人に向かう途中であり、「好き」という気持ちや、異性に興味がわくことは自然なことであるということを理解させる。</li> <li>○ ワークシートに自分の気持ちを書かせる。</li> <li>○ 相手の嫌がることを無理強いしてはいけないことを理解させる。</li> <li>○ 「相手の嫌がること」「周りの人たちに嫌な思いをさせないこと」については、具体的な事例をあげ理解させる。 (例) 抱きつく・腕を引っぱる等</li> <li>○ 自分の思いどおりにならない時もあることを理解させる。</li> <li>○ 困ったら信頼できる大人に相談することを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート &lt;資料1&gt;</li> </ul>
終末	5 学習のまとめをする。	○ ポイントを再確認し、まとめとする。	

<資料1> 「好きな人ができたら」ワークシート

1 あなたはどんな人が好きですか？

2 「好き」とはどんな気持ちですか？好きな人のことを思い浮かべると、  
どう感じますか？

3 あなたは「好きな人」に何をしてもらいたいですか？

4 あなたは「好きな人」に何をしてあげたいですか？

< <sup>す</sup>好きな人<sup>ひと</sup>となかよくするために<sup>だいじ</sup>大事なこと >

- ① <sup>あいて</sup>相手のいやがることをしない
- ② <sup>じぶん</sup>自分を<sup>たいせつ</sup>大切にする
- ③ <sup>まわ</sup>周りの人たちに<sup>ひと</sup>イヤな<sup>いや</sup>思いを<sup>おも</sup>させない



※ <sup>ふあん</sup>不安な<sup>とき</sup>時、<sup>こま</sup>困った<sup>とき</sup>時には<sup>しんらい</sup>信頼できる<sup>おとな</sup>大人に<sup>そうだん</sup>相談する。